

MD100 完全版読み取りモードマニュアル

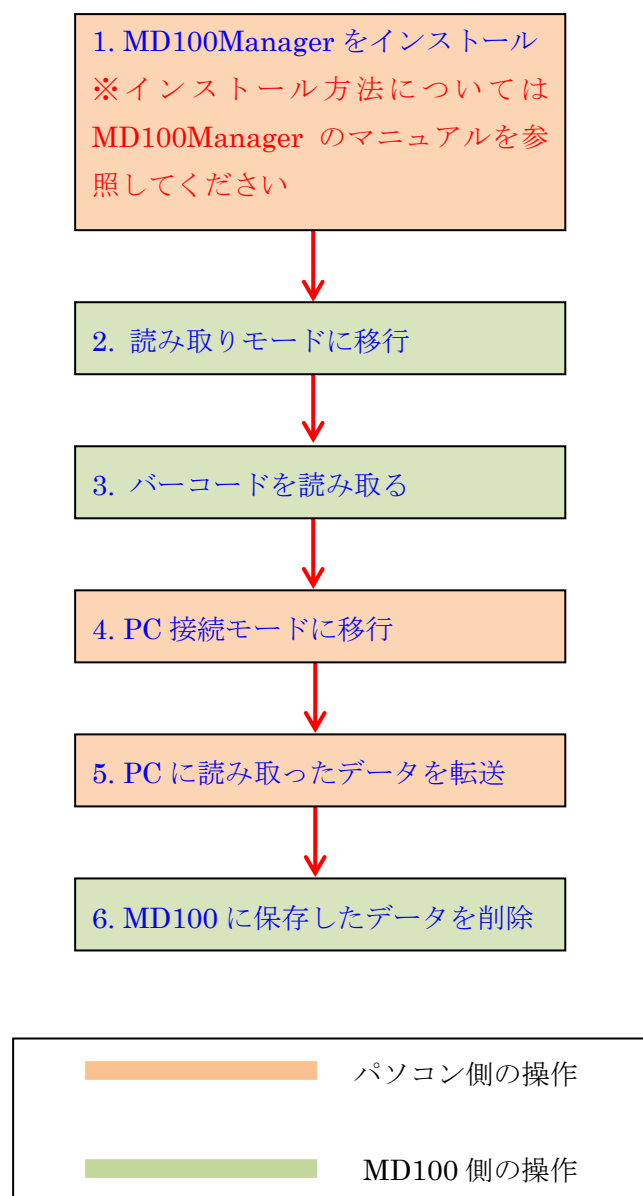
このマニュアルでは「MD100」の読み取りモードに関し詳細に記載
します。

Ver2.10

内容

読み取りモード操作手順概略.....	3
読み取りモードとは.....	4
読み取りモードに移行する.....	4
読み取りモードの操作説明.....	5
読み取りモードの液晶.....	6
読み取りモード設定項目.....	6
個数入力.....	7
1.液晶.....	7
2.操作方法.....	7
3.個数/回数入力画面.....	8
4.個数/回数入力時の注意.....	8
データベース参照.....	9
二重読み取り禁止.....	9
バーコードの手入力.....	10
PCヘデータの取り込み.....	11
本体設定（スキャン設定）.....	14
確認送信.....	15
日付付加.....	15
時間付加.....	15
時間の設定.....	15
スキャン方法.....	15
画面設定.....	16
ビープ音設定.....	16
バイブ設定.....	16
設定の初期化.....	16
”でデータを囲む.....	16
本体設定（その他設定）.....	18
端末番号設定.....	19
ファイル操作.....	20
履歴確認.....	20
メモリの初期化.....	24

読み取りモード操作手順概略

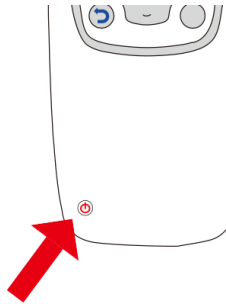


読み取りモードとは

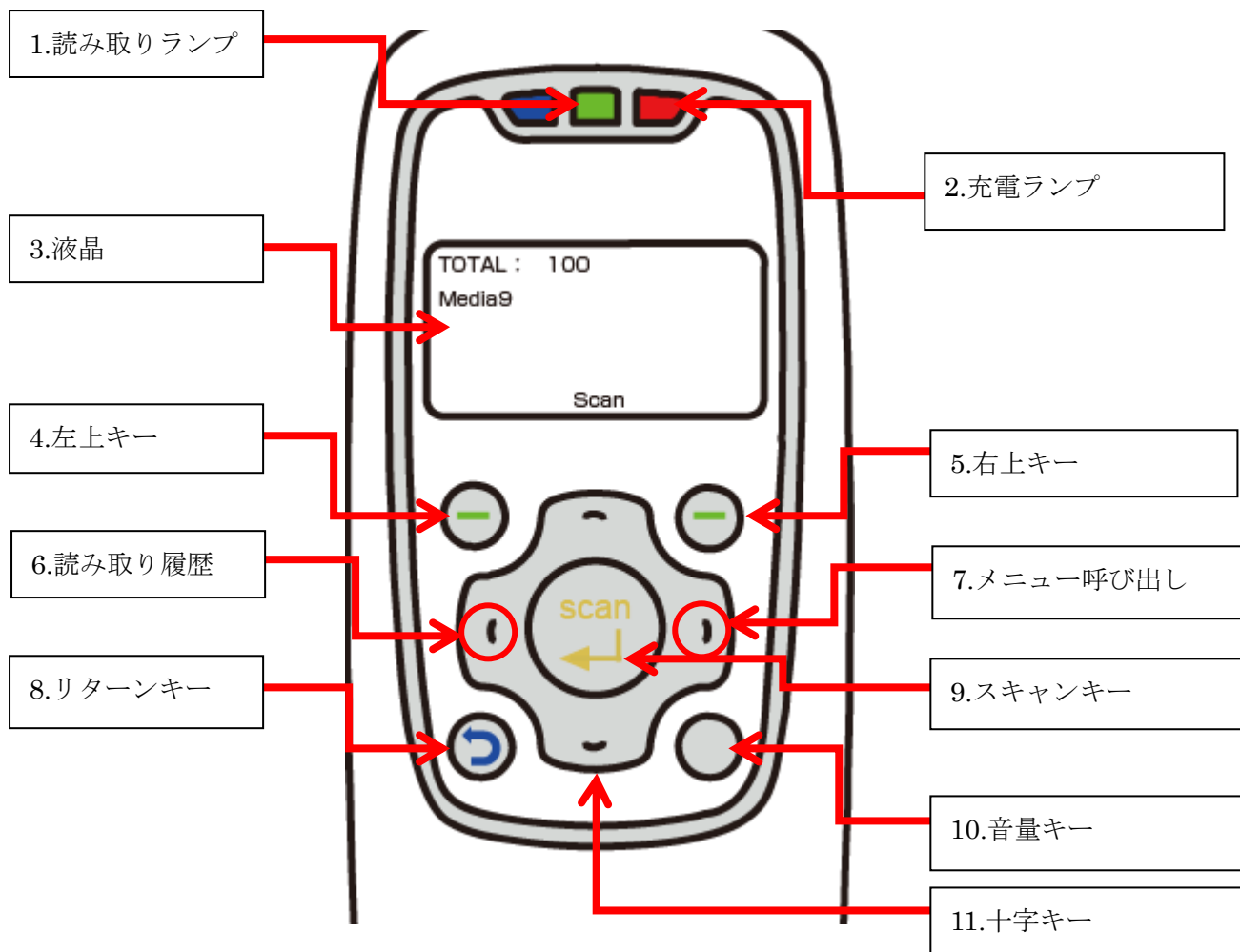
読み取りモードではバーコードを読み取り、画面で確認することができます。

読み取ったバーコードデータはパソコンに転送することができます。

読み取りモードに移行する

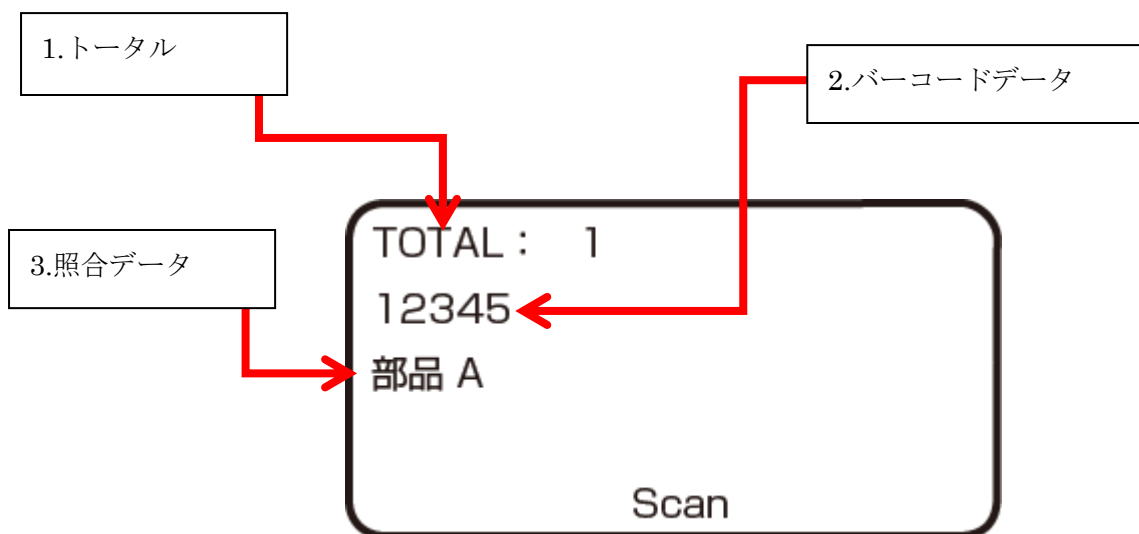
<p>MD100 の電源を入れます。</p>	
<p>「読み取りモード」にカーソルがある状態で決定ボタンを押します</p> <p>※この画面ではない場合は一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p>	
<p>これで読み取りモードに移行しました。</p>	
<p>スキャンキーを押してバーコードを読み込むことで保存が出来ます。</p> <p>※初回時はファイルを作成するため、少し時間がかかります。 初期化時も同様です。</p>	

読み取りモードの操作説明



項目	説明
1.読み取りランプ	バーコードを読み取ると緑色のランプが点灯します。
2.充電ランプ	MD100 を充電すると点灯します。
3.液晶	次ページ以降で説明します。
4.左上キー	モードによって使用します。 常時照射モード時、電源以外は操作を受け付けませんがこのキーを押しながら他のキーを組み合わせることで操作を受け付けることが可能です。
5.右上キー	バーコード手入力を呼び出します。 読み取れないコードの手入力が可能です。
6.読み取り履歴	バーコードを読み取りした後、その読み取った履歴を表示します。
7.メニュー呼び出し	読み取りモードの設定が可能です。
8.リターンキー	メニューに戻ります。
9.スキャンキー	バーコードを読み取ります。 常時照射時は必要ありません。
10.音量キー	ボタンを押す毎にミュート→小→中→大の順で音量を切り替えます。
11.十字キー	カーソルの移動等メニュー操作や個数入力時に使用します。

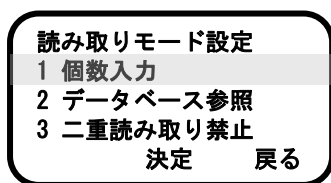
読み取りモードの液晶



項目	説明
1. トータル	保存されているバーコード数を表示します。
2. バーコードデータ	読み取ったバーコードデータを表示します。
3. 照合データ	データベース照合を ON にしていた場合、照合データに一致したバーコードデータを表示します。

読み取りモード設定項目

読み取りモード画面で十字キーの右キーを押すと読み取りモード設定画面を表示し各種設定を行なうことができます。

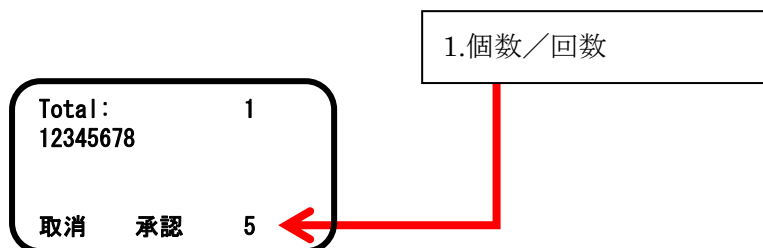


項目	内容
個数入力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無効・・・特になし 2. リピート回数指定・・・同じデータを連続で読み取ったことに出来ます。 3. 個数入力・・・読み取り後の個数入力画面で入力した回数をカンマ区切りで入力（「バーコードデータ,個数」）できます。
データベース参照	<p>データベースに登録した情報を表示できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無効・・・データベース参照を行ないません 2. 有効・・・データベース参照を行ないます <p>データベース参照結果にかかわらず読み取ったデータは保存します。</p>
二重読み取り禁止	<p>読み取り済みデータを保存しないようにすることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無効・・・読み取り済みデータであっても保存します 2. 有効・・・読み取り済みデータの時は警告音を鳴らしデータを破棄します

個数入力

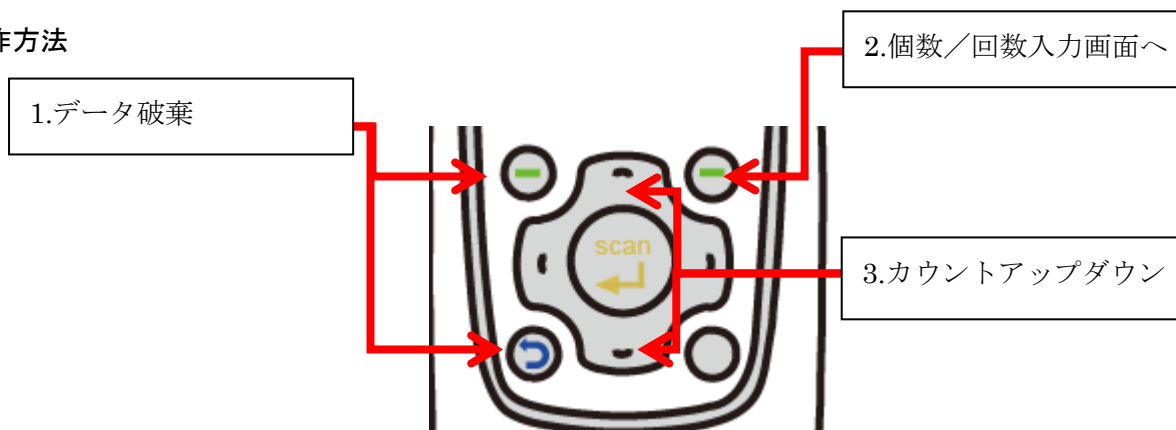
1.液晶

個数入力モードを「リピート回数指定」または「個数入力」にするとバーコードデータを読み取り後に下記のような確認画面が出てきます。



項目	説明
1.個数/回数	個数入力での個数またはリピート回数を表示します。

2.操作方法



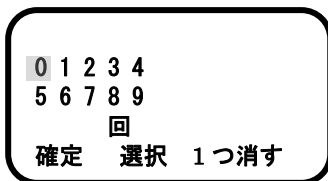
項目	説明
1.データ破棄	読み取ったバーコードデータを破棄します。保存しません。
2.個数/回数入力画面へ	個数まやは回数を入力するための画面に切り替わります。
3.カウントアップダウン	上を押すと+1、下を押すと-1 されます。

3.個数／回数入力画面

・ 個数入力するとき



・ 回数入力するとき



項目	説明
十字キー	カーソルを移動します。
スキャンキー	カーソルの場所で入力をします。
左上キー	入力した数で確定して反映します。
右上キー	入力した数字を一つ消します。パソコンなどのバックスペースキーと同じような動きをします。

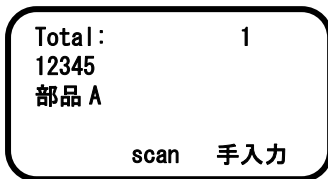
4.個数／回数入力時の注意

1. リpeat回数の場合「1～255」、個数入力モード時は「99999」までの指定が可能です。
2. リpeatモードにすると指定した回数メモリにバーコードが保存されます。
回数が多くなると保存する時間が遅くなります。
3. 個数入力は「バーコードデータ,回数」の形で入力されます。

■データベース参照

バーコード「12345」に「部品 A」という項目がデータベースに登録してあるとき、バーコード「12345」を読み取ると画面に「部品 A」と表示できます。

データベース参照結果にかかわらずバーコードデータは保存します。



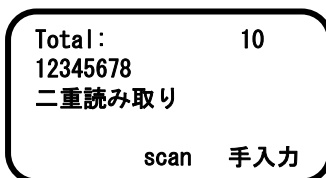
□設定方法□

- ①メイン画面より「1. 読み取りモード」を選択します。
- ②右矢印キー（→）を押します。
- ③「読み取りモード設定」より「2. データベース参照」を選択します。
- ④「2. 有効」を選択します。

※データベース参照で使用するデータベースの作成方法については MD100Manager のマニュアルを参照してください。

■二重読み取り禁止

二重読み取り禁止が「有効」のときに読み取り済みデータを再度読み込むと、警告音を鳴らすと共に「二重読み取り」の警告メッセージを画面に表示しデータを破棄します。



なおメモリの初期化を行なうと二重読み取り判定用データがクリアされます。

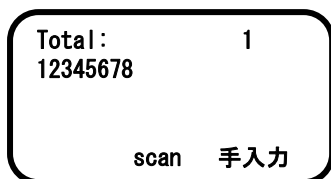
□設定方法□

- ①メイン画面より「1. 読み取りモード」を選択します。
- ②右矢印キー（→）を押します。
- ③「読み取りモード設定」より「3. 二重読み取り禁止」を選択します。
- ④「2. 有効」を選択します。

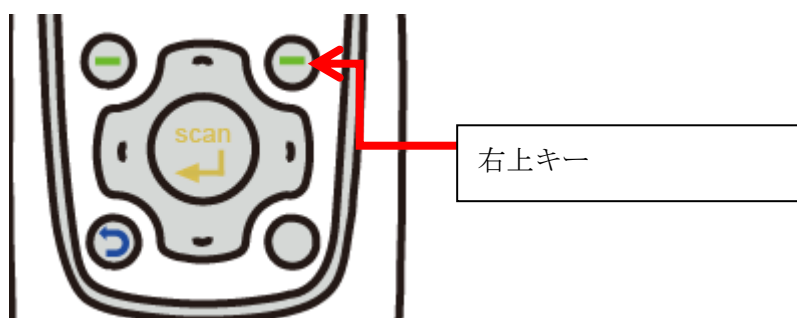
バーコードの手入力

印字がかすれて読めないバーコードコードなどを手動で入力する際に使用します。

・操作方法



1. 上のような読み取りモード画面で「右上キー」を押します。




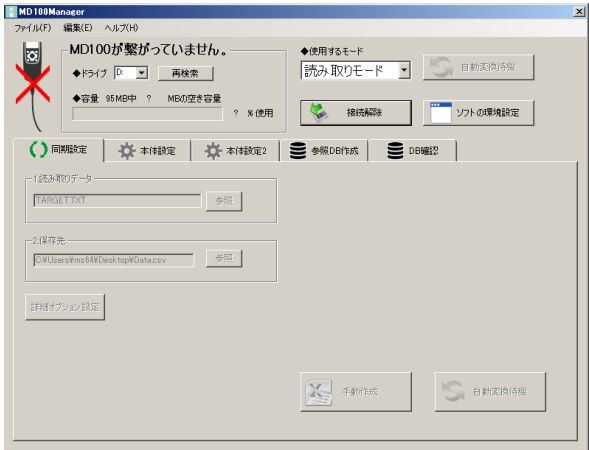

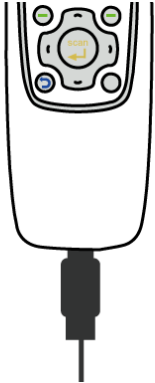
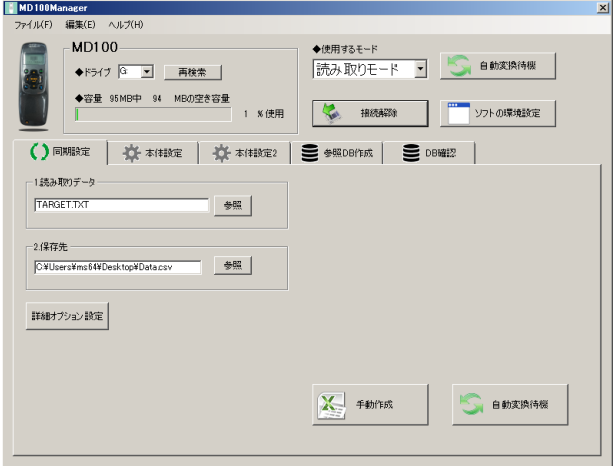
2. MD100 の画面が下記のように切り替わります。

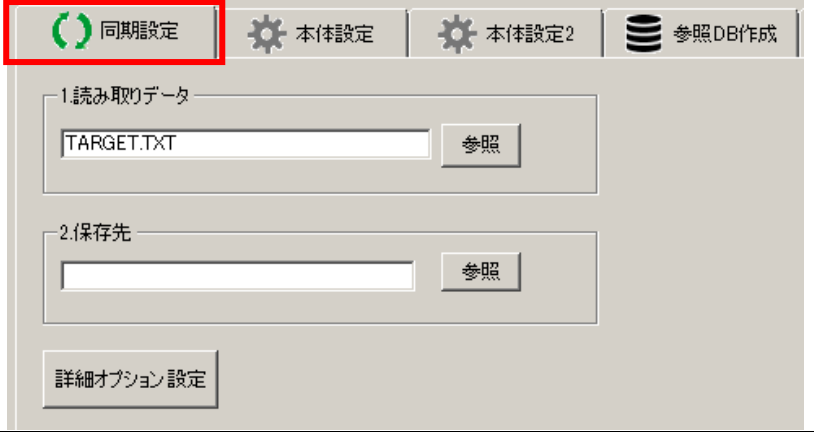
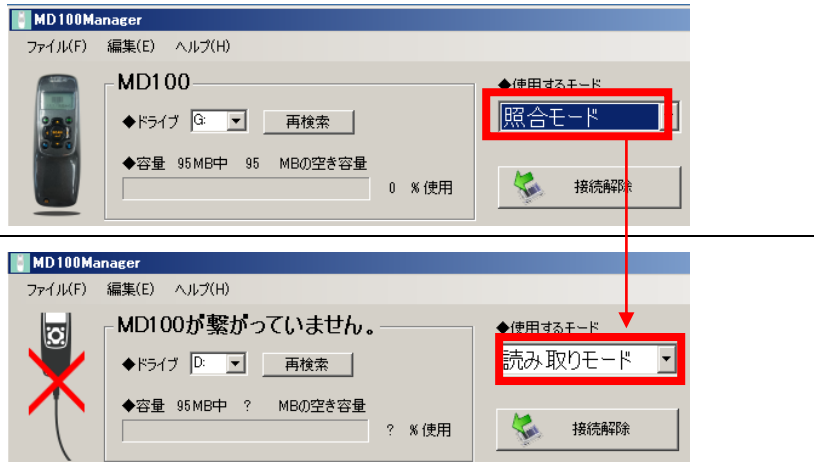
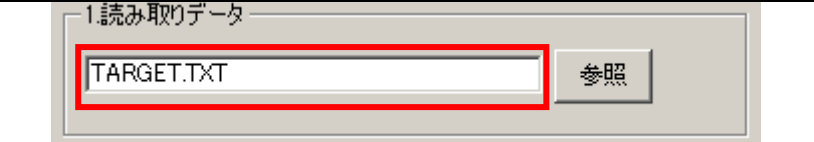
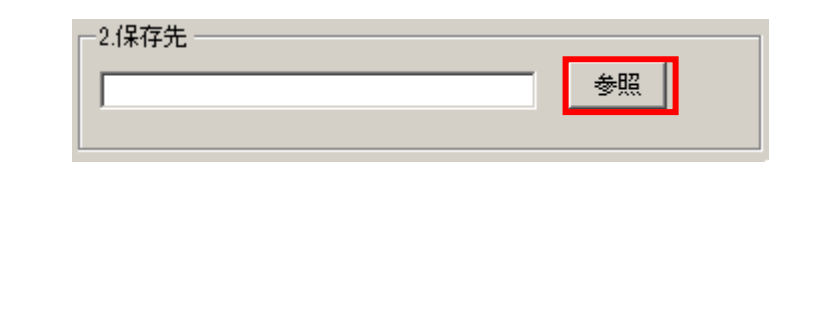




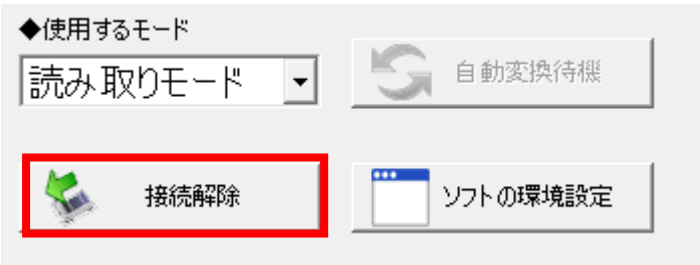
3. 操作方は下記のとおりです。

項目	説明
十字キー	カーソルを移動します。
スキャンキー	カーソル上の文字を入力をします。
左上キー	入力した文字でデータを確定し保存します。
右上キー	最後に入力した文字を一つ消します。パソコンなどのバックスペースキーと同じような動きをします。

PC ヘデータの取り込み

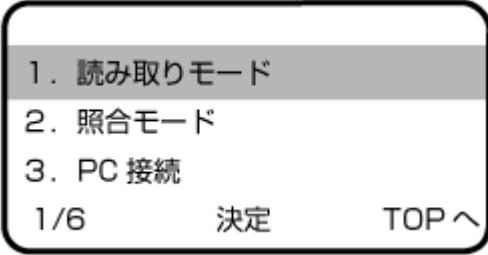
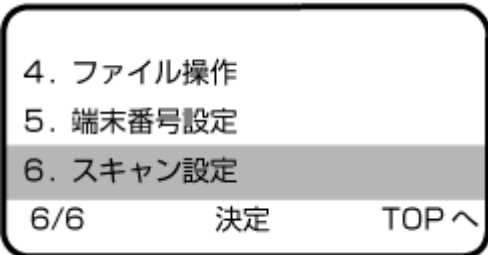
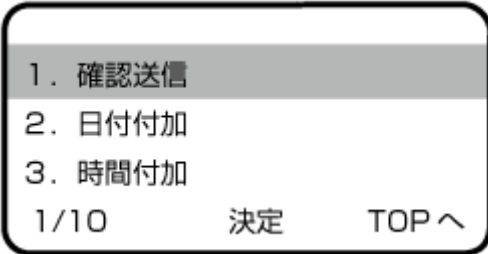
<p>デスクトップ、もしくはスタートメニュー等より「MD100Manager」を起動します。</p>	
<p>右のようなソフトが立ち上がれば起動完了です。</p>	
<p>MD100ManagerにMD100を接続します。 MD100の電源を入れて「PCと通信」を選択します。</p>	
<p>この状態で付属のケーブルとPCを接続します。</p>	
<p>右図のようにMD100が認識されたら接続が完了しています。</p>	

<p>ソフトを起動した状態で「同期設定」をクリックします。</p> <p>※右の画像の赤の四角</p>	
<p>使用するモードが「照合モード」のときは「読み取りモード」に切り替えます。</p>	
<p>読み取りデータが「TARGET.TXT」になっていることを確認して下さい。</p>	
<p>「保存先」の「参照」をクリックします。保存先の指定画面が出るので保存したい場所とファイル名を指定します。</p> <p>※ファイル名は「ファイル名」+「日付」+「ナンバー」になります。</p>	
<p>手動作成ボタンを押すと保存されます。</p>	
<p>※ファイル名は「ファイル名」+「日付」+「ナンバー」になります（右図参照）。</p>	

<p>「接続解除」を押して安全な取り外しを行います。</p>	 <p>◆使用するモード 読み取りモード</p> <p>自動変換待機</p> <p>接続解除</p> <p>ソフトの環境設定</p>
<p>PC への取り込み完了後は「メモリの初期化」を行って下さい。</p>	

本体設定（スキャン設定）

確認送信、日付転送、時間付加、スキャン方法、ビープ音、バイブ、「”」囲み、時間設定、バックライト OFF、設定の初期化をする際に使います。

<p>読み取りモードから戻る、もしくは MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にしてください。</p>	
<p>上キー、もしくは下キーでカーソルを移動して「スキャン設定」に移動してください。</p>	
<p>スキャン設定のモードに切り替わりました。</p>	

項目	内容
確認送信	バーコード読み取り後に保存していいかの確認を表示します。
日付付加	バーコードデータの後に日付を付加します。
時間付加	バーコードデータの後に時間を付加します。
スキャン方法	常時照射モード等、レーザー照射モードを切り替えます。
ビープ音設定	読み取り時の音の大きさを変更できます。
バイブの設定	読み取り時のバイブの ON、OFF を切り替えます。
” でデータを囲む	データを「”」で囲みます。バーコードデータに「,」がある際に使用します。
時間の設定	本体の時間を設定します。
バックライト OFF	バックライトを消して省エネモードに入る時間を設定します。
設定の初期化	変更した設定を初期化します。

確認送信

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	バーコードの読み取り時に確認画面を表示します。 確認画面で「取消」を選ぶと読み取ったデータを破棄し、「承認」を選ぶとデータを MD100 に保存します。

(※) はデフォルト設定

日付付加

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	年/月/日をバーコードの後に付加します。 例： 12345,2014/06/08

(※) はデフォルト設定

時間付加

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	時/分/秒をバーコードの後に付加します。 例： 12345, 22:43:23

(※) はデフォルト設定

時間の設定

項目	説明
時間	時/分/秒を設定します。
日付	年/月/日を設定します。

スキャン方法

項目	説明
トリガーモード(※)	押している間、レーザーを照射します。
グッドリード	スキャンボタンを押すとレーザーを一定時間照射します。 ※照射中はボタン操作を受け付けないので注意してください。
オートスキャン	読み取りモードに切り替わるとレーザーを常時照射します。 ※オートスキャンにして読み取りモードに入ると誤操作防止のためにボタン操作を受け付けません。 左上キーを押しながら他のキーを操作してください。

(※) はデフォルト設定

画面設定

項目	説明
スリープモード	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 スリープモードに移行すると電源ボタンの長押しを行いスリープを解除するまで操作を受け付けません。
バックライト	バックライトを点灯する時間を指定します。 バックライトが消灯した状態で、いずれかのキーを押すとバックライトは点灯します。
履歴閲覧設定	履歴表示画面で十字キーの左／右キーを押したときの動作方法を設定します。 「スピード優先」を選択すると、右キーで次ページ表示し、左キーで前ページを表示します。 「右矢印で全体」を選択すると、右キーで選択されているデータの全体を表示し、左キーで前ページを表示します。

ビープ音設定

説明
4段階で音量を指定できます。 「ボリューム OFF」にすると音を出しません。 「ボリューム中」がデフォルト設定です。

バイブ設定

説明
読み取り時にバイブを使用するかどうかを指定できます。 「有効」がデフォルト設定です。

設定の初期化

説明
購入時の設定に戻すことができます。 読み取ったデータは削除しません。

”でデータを囲む

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	バーコードデータを「”」で囲みます。 バーコード「12345」を読み取ると「”12345”」になります。 「カンマ」入りバーコードを読み取った際の表示に関係します。

(※) はデフォルト設定

例：バーコード「12345,20140508」を読み取った時

1. 「,」付加を有効

A4			
	A	B	C
1	12345,20140508		
2			

2. 「,」付加を無効

	A	B	C
1	12345	20140508	
2			

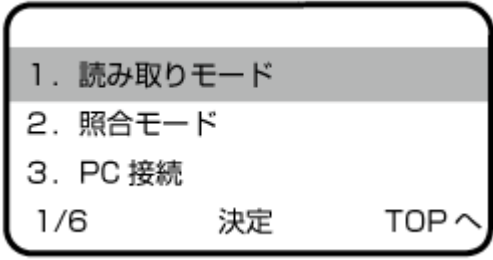
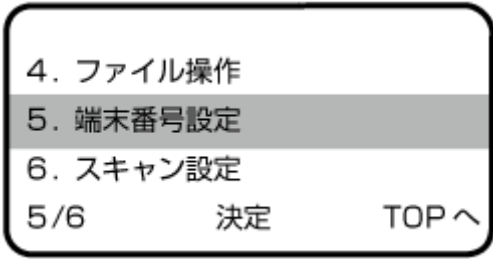
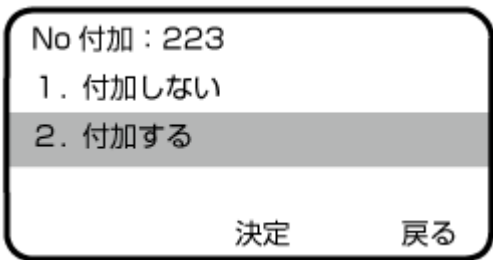

本体設定（その他設定）

項目	内容
端末番号設定	バーコードデータの後に端末番号を付加します。 複数の端末使用時にどの端末で読み取ったかの識別等に使用します。
ファイル操作	保存したバーコードをリセットします。
履歴確認	読み取ったバーコードを確認します。

端末番号設定

バーコードのデータの後ろに端末番号を付加します。

複数の端末で読み取りを行った際にどの端末で読み取ったかを確認する際に使用することが出来ます。

<p>TOP 画面に戻ります。 ※MD100の電源を一度OFFにして再度ONにして右のような画面にするとすぐにこの画面になります。</p>	
<p>上か下にカーソルを移動して「端末番号設定」を選択してください。</p>	
<p>付加しない場合は「付加しない」、付加する場合は「付加する」を選択します。</p>	
<p>「付加する」を選択すると右の画面になり、番号入力ができるようになります。</p>	

○番号入力操作方法

項目	説明
十字キー	カーソルを移動します。
スキャンキー	カーソル上の数字を入力します。
左上キー	入力した番号を確定します。
右上キー	最後に入力した数字を一つ消します。パソコンなどのバックスペースキーと同じような動きをします。

ファイル操作

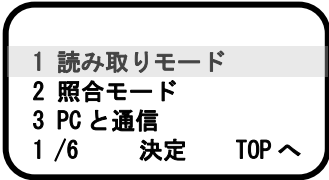
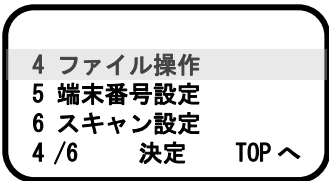
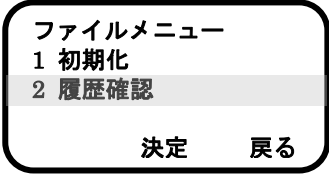

履歴確認

読み取ったバーコードの履歴を確認できます。

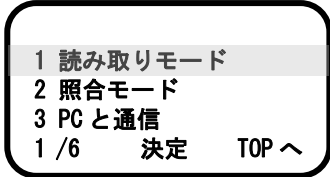
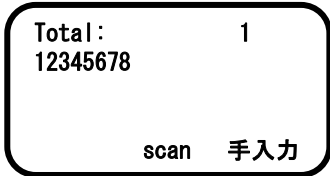

また、誤って読み取ったバーコードの削除予約も可能です。

履歴を確認するには二通りのモードから確認ができます。

1. ファイル操作から確認する

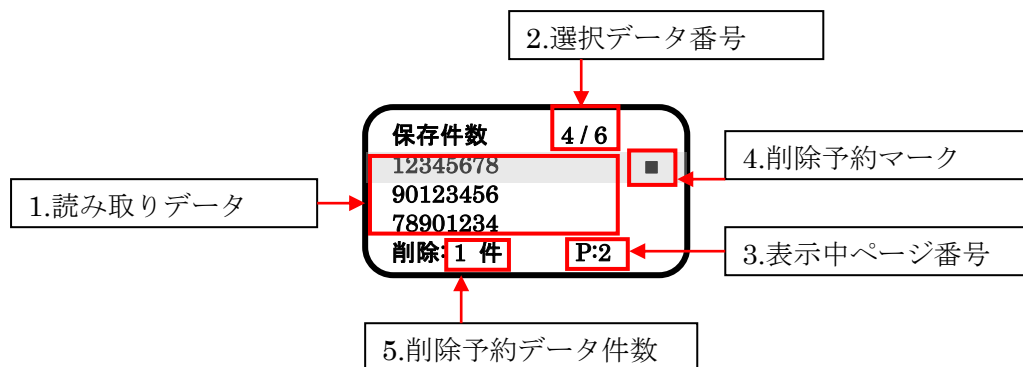
<p>TOP 画面に戻ります。 ※MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にするとすぐにこの画面になります。</p>	 <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PC と通信 1 / 6 決定 TOP へ</p>
<p>上か下にカーソルを移動して「ファイル操作」を選択してください。</p>	 <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 / 6 決定 TOP へ</p>
<p>「履歴確認」を選択します。</p>	 <p>ファイルメニュー 1 初期化 2 履歴確認 決定 戻る</p>
<p>履歴確認画面を表示します。</p>	 <p>保存件数 1 / 1 12345678 削除: 0 件 P:1</p>

2.読み取りモードから確認する

<p>「読み取りモード」を選択します。</p> <p>※この画面ではない場合は一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p>	 <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PCと通信 1 / 6 決定 TOPへ</p>
<p>左の画面に切り替わったら十字キーの左キーを押します。</p> <p>※常時照射モードを選択の際は「左上キー」を押しながら「左キー」を押してください</p>	 <p>Total: 1 12345678 scan 手入力</p>
<p>履歴確認画面を表示します。</p>	 <p>保存件数 1 / 1 12345678 削除: 0 件 P:1</p>

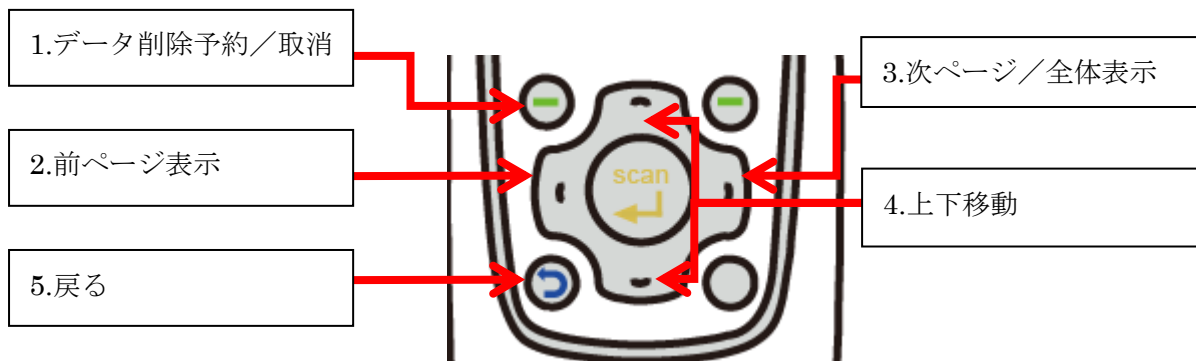
3.履歴確認モード操作説明

読み取り履歴の確認や読み取ったデータの削除予約をすることが出来ます。



項目	説明
1.読み取りデータ	読み取ったバーコードを読み取った順に表示します。
2.選択データ番号	選択した番号が何番目のデータかを「選択データ番号 / 全データ件数」の形式で表示します。
3.表示中ページ番号	現在表示しているページ番号を表示します。
4.削除予約マーク	削除予約指定されたデータの右端には「■」を表示します。
5.削除予約データ件数	削除予約されたデータの件数を表示します。

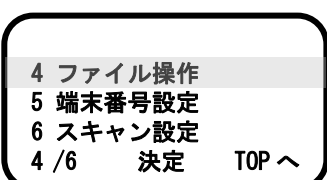
・操作方法



項目	説明
1.データ削除予約／取消	データ削除の予約あるいは取り消しを行います。 削除予約をしたデータの右端には「■」マークを表示します。 削除予約したデータはPCへの取り込みにおけるCSVデータ変換の対象から除外します。
2.前ページ表示	前ページを表示します。
3.次ページ／全体表示	その他設定（本体側）の「履歴閲覧設定」で「スピード優先」を選択していると次ページを表示し、「右矢印で全体」を選択していると、右矢印を押している間は画面内に収まりきれなかった部分も含めたデータの全体を表示します。
4.上下移動	カーソルを上下に移動します。
5.戻る	前の画面に戻ります。

メモリの初期化

メモリの初期化は次の手順で行なってください。

No.	説明	画面
1.	MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にしてください。	 <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PCと通信 1 /6 決定 TOPへ</p>
2.	「ファイル操作」を選択します。	 <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 /6 決定 TOPへ</p>
3.	「初期化」を選択します。	 <p>ファイルメニュー 1 初期化 2 履歴確認 決定 戻る</p>
4.	「フォーマットする」を選択します。	 <p>ファイルメニュー 1 フォーマットしない 2 フォーマットする 決定 戻る</p>
5.	初期化が開始されます。	 <p>ファイルメニュー 1 フォーマットしない 2 フォーマットする 初期化中... 決定 戻る</p>
6.	右のような画面に戻ったら初期化完了です。	 <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 /6 決定 TOPへ</p>